

噴霧で、対象物・空間を除菌・消臭

噴霧の方法

① 超音波噴霧

Sany除菌・消臭水を超音波噴霧器で粒子にし、さらに気化状態にて噴出させます。ファンの音も静音タイプですので気になりません。加湿式は、ガス化になり使用できません。噴霧の際、喉の痛み、頭痛を起こした場合は使用頻度を減らすか使用を中止してください。

② スプレー噴霧

Sany除菌・消臭水をガンスプレーで菌・臭いの発生源に直接噴霧させます。即効性あり。尚、テーブルの上、床、手など、汚れた状態での使用は効果が低下します。

環境に優しい弱酸性除菌水・Sany除菌・消臭水

Sany除菌・消臭水(次亜塩素酸水)は、O157・インフルエンザウイルス・ノロウイルス・風疹ウイルス・結核菌などの感染原因菌に対して有効であると感染症学会をはじめ日本食品分析センター・関係団体・学者により認められています。Sany除菌・消臭水(次亜塩素酸水)除菌力の基は、塩酸(HCl)と次亜塩素酸ナトリウム(NaClO)の溶液を希釈混合して生成された水で、O157・インフルエンザウイルス・ノロウイルス・風疹ウイルス・結核菌など各種の感染症、食中毒などの原因菌対策に病院・介護施設・食品製造場・役所など人の出入りが多い場所で広く利用されています。

第一世代 次亜塩素酸ナトリウム 薬剤による除菌

- 長所**
- 除菌力が強く幅広い菌に有効
 - 比較的の残留性がなく、低濃度では安全
- 短所**
- 高濃度のものなら、アルカリ性で生体への刺激が大
 - 強い金属腐食性を有する
 - 経時に効果が低下する
 - 使用時に原液を希釈して使用

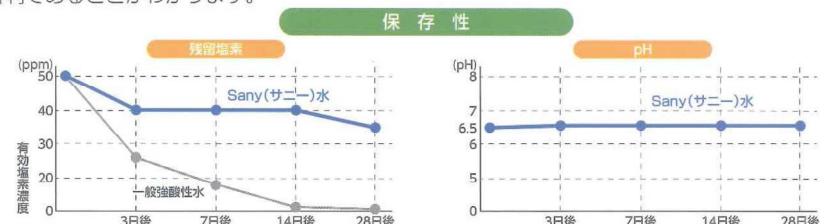
第二世代 一般強酸化水 機能を持った除菌水

- 長所**
- 低濃度の塩素であるにもかかわらず除菌力が強く、幅広い菌に有効
 - 残留性がなく安全
- 短所**
- 強い金属腐食性を有する
 - 微量の有機物によって効果が低下する
 - 塩素ガスが発生する

経済的! 1日8時間噴霧(100ml/h)84円

保存性が高いため、ムダなく使えます。

Sany(サニー)水と一般的な強酸性水の解放時保存性の比較結果により、はるかに保存性が高く、作業性においても有利であることがわかります。



保存性について、開放の場合のデータです。強酸性水に比べSany(サニー)水は、はるかに保存性に優れ、作業性に極めて有利であることがわかります。

第三世代 Sany(サニー)除菌・消臭水 進化した機能水 Sany除菌・消臭水

- 長所**
- 低濃度の塩素にもかかわらず、最適なpHのため除菌力が抜群である
 - 残留性がなく安全
 - 最適pHにより塩素ガスの発生がない
 - 最適pH・最適塩素濃度により実用に最適
 - あらゆる衛生管理に使用出来る
 - 安全性高く、金属腐食性が低い

機能水および除菌剤の比較

製造現場で機能水・除菌剤を使用する場合を想定し、それぞれの比較を下記に示した。除菌力はオゾン水、Sany(サニー)水の順に高く、安全性ではヒトの粘膜にも使用できる点でSany(サニー)水・強酸性水が優れ、次亜塩素酸ソーダなどの副産物ができるない点ではSany(サニー)水・次亜塩素酸ソーダが優れている。安定性ではSany(サニー)水・次亜塩素酸ソーダは比較的の長時間保存可能であるが、オゾン水は開放形での半減期が約6分であり衝撃による濃度低下などが問題となる。腐食性では次亜塩素酸ソーダとSany(サニー)水はほぼ同等と考える。

総合的に判断すると衛生管理が必要な製造現場等で用いるにはSany(サニー)水が優れているものと考えた。

